

総務省消防庁支援車Ⅰ型 (指揮統制車)

この車両は、大規模災害時の後方支援を目的に、総務省消防庁から借用車両として東京消防庁に配置されました。全国47都道府県に各1台配置されており、東京消防庁では、荒川消防署 汐入出張所に平成23年3月1日から配置、運用されています。



指揮統制車は、災害時などに避難者の搬送、現場での救護、救助、現場の指揮も行えます。車両後方上部には指揮台も装備されています。また夜間の災害活動現場での安全管理及び作業効率向上のため、瞬時点灯型バルーンライト、車両室内灯にはLED照明を装備してあります。



車両の拡幅操作により、約20平方メートルの室内空間を作り出すことができ、シャワー室、トイレ、ガス、水道設備等が備えつけられています。また、椅子が簡易ベッドとして使用できることから、宿泊施設としても活用できます。車両後部には資器材が収納できるスペースがあり、野営活動等に使用するテント、バーナー等を積載しており、最大26人まで収容が可能です。

東日本大震災では後方支援隊として、宮城県気仙沼市へ出場しました。

総務省消防庁支援車Ⅰ型

平成23年3月1日 配置

全長	11m
車両幅	2.5m
高さ	3.6m
乗車定員	10名
収容人員	26名
総重量	約20t
給水タンク	300ℓ

